

# 施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
生活環境部	藤岡 善光	63-7496 (環境対策室)

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル

## 1. 施策の基本方針 Plan

- ・市民、事業者、行政が一体となって、ごみゼロ社会を目指します。

## 2. 目標

### ○重点目標 Plan

- ・ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づき、市民、事業者、行政が協働で、ごみの減量と資源化に取り組めます。
- ・燃やすごみに多く含まれている生ごみの資源化を推進し、ごみの減量を目指します。
- ・草木類の資源化を推進し、資源循環型社会の構築を目指します。
- ・ごみ減量の基本である3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。
- ・不法投棄ごみを一掃するため、監視パトロール及び早期撤収に努めます。

### ○目標達成に向けた課題 Plan

- ・燃やすごみに含まれている生ごみについては、家庭での発生抑制やコンポストなどによる堆肥化を促すよう、啓発を行う必要があります。
- ・草木類の資源化を進めるために、せん定枝粉碎処理車を導入し、地域や学校等に出向いて、せん定枝の資源化と資源循環型社会の構築を啓発していますが、人件費と車両メンテナンス費用等が必要となります。
- ・委託により、不法投棄の監視パトロール、不法投棄物・不適正排出ごみの撤収等を行っているが、継続には費用が必要となります。

<行政評価委員会からの意見>  
意見なし

### ○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
一人一日あたりのごみ排出量（g）	目標	-	-	959.0	-	-	942.0	
	成果	1006.4	902.7	901.3	891.0	893.7		100%
家庭から排出される一人一日あたりの燃やすごみの量（g）	目標	-	-	335.0	-	-	321.0	
	成果	364.7	355.0	358.5	358.0	370.4		0%
家庭から排出される一人一日あたりの燃やさないごみの量（g）	目標	-	-	37.1	-	-	36.5	
	成果	37.6	38.9	36.7	37.0	38.9		0%
ごみのリサイクル率（%）	目標	-	-	30.5	-	-	31.5	
	成果	27.3	31.1	31.8	32.0	30.0		64%
ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合（%）	目標	-	-	-	-	-	94.0	
	成果	-	93.6	92.5	93.8	93.6		0%

## 3. 取組内容

### ○課題解決への取組内容 Do

- ・第四次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づき、市民、事業者、行政が協働して、3R実践行動に取り組めました。
- ・草木類資源化の推進については、せん定枝粉碎処理車を活用し、資源化を推進するとともに、資源化作業の実演を行うなど環境学習にも取り組めました。また、家庭用のせん定枝用小型破砕機の貸出し（94件）に加え、購入費補助の支援を継続して行いました。
- ・不法投棄対策は、パトロールを強化するとともに、不法投棄物の回収に取り組めました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>  
意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

・環境学習を推進するため、地域や学校と連携し積極的に取り組みました。  
 ・各地域から名張市地域環境推進員を選出いただき、研修会を通じて情報の共有化を図るなど、ごみ減量・資源化の推進、不法投棄の根絶に向けた連携体制に取り組みました。  
 ・不法投棄については、地域、警察、三重県、郵便局、河川管理事務所、ダム管理所等と連携して対策を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 5 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価		
		2013 (H25)	2014 (H26)	事務事業の 施策への 貢献	地域づくり組 織等との 連携・協 働	事務事業シ ートでの 今後の 方向	施策達成 への 貢献度	施策達成 への 重要度	
1086	ごみゼロ・リサイクル推進事業	環境対策室	8,909	9,712	A	実践している	継続(改善)	A	A
1087	環境委員活動事業	環境対策室	1,114	1,165	A	実践している	継続(改善)	B	B
1090	不法投棄対策事業	環境対策室	2,725	4,942	A	実践している	継続(拡大)	A	A
3041	生ごみ処理機器購入費補助金	環境対策室	238	429	A	検討している、今後可能性がある	継続(改善)	B	B
6075	ごみ対策費	環境対策室	27	27	—	該当しない	継続(拡大)	—	—
合計(単位：千円)			13,013	16,275					
小計(うち、一般会計分)			13,013	16,275					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

<b>評価</b>
事業内容・規模等の見直し
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一日あたりごみ排出量は微増となっておりますが、ごみ総量では前年比で121t減少しており、ごみ減量化の意識は定着しています。</li> <li>指標においては、家庭から排出される一人一日あたりごみ量についても、燃やすごみ、燃やさないごみ共に増加していますが、ごみ量は前年比で2.8%増であるため、今後の推移を注視するとともに、現状維持ができるよう啓発に努めます。</li> <li>せん定枝等の資源化及び不法投棄対策に取り組むとともに、実践活動を通じ環境学習に資することができました。</li> </ul>

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

・平成20年4月からの家庭ごみ有料化実施以降、大幅なごみの減量化が図られ、この成果を維持できるよう引き続き、ごみ減量・資源化・3Rの学習会等、啓発に取り組んでいきます。  
 ・生ごみの資源化については、家庭や地域での減量化・堆肥化の取組を進めるため、引き続き啓発に努めます。  
 ・使用済小型家電の拠点回収とともに、資源化を高める啓発をします。  
 ・草木類の資源化、不法投棄対策については、地域、関係団体、関係機関等との連携・協働に取り組むとともに、補助事業等の有効活用に努め実施します。